

みんなのふるさと

夢プロジェクト

あおぞら共和国

秋のイベントから

台ヶ原宿市に初出展!!

地域の方々への周知がこれまで難しかったのですが、“あおぞら共和国”や難病ネットのことを知っていただく良い機会になりました。地元在住の難病のお子さんのご家族も立ち寄っていただきました!



40年の歴史が交差する
甲州街道の宿場町として栄えた
甲州台ヶ原宿に全国から
集められた、新しいさと
古きよきさが集結する
3日間です。

台ヶ原宿市

21th

2023
10月20日(土) 21日(日) 22日(月)

10:00~16:30(最終日は16:00)

会場 山梨県北杜市白州町台ヶ原

ホームページはこちら!

300店舗以上が出店!

クラフト市
作家の手づくり作品

骨董市
暮らしの植物市

山梨県 台ヶ原市実行委員会、台ヶ原区
協賛 伊府町工芸会
協賛 山梨県 北杜市、北杜市観光協会、北杜市商工会、白旗下区
協賛 山梨白紙製紙社、朝日新聞甲府総局、読売新聞甲府支局、毎日新聞甲府支局、産経新聞甲府支局、山梨放送、テレビ山梨、エフエム富士、アイキャン、フロンティアAZ





秋のチャリティウォーク開催!! 11月21日(土)

日野春駅から台ヶ原宿市をゴールとしましたが、ほとんどの方が例年通りあおぞら共和国まで完歩しました!!



みんなのふるさと
夢プロジェクト

あおぞら共和国

2024年2月5日、“あおぞら共和国”も雪景色になりました!



2023年11月26日(日)1時から4時まで、第4回らくがきキッズPartyが開催されました。お天気にも恵まれ、先ずは若者ボランティアらと昨年度のキッズボックスに残っていたらくがきを綺麗にふき取り、プログラムの準備を行いました。主な活動は室内外のおえかきワークショップやしきの会のメンバーによる音楽の演奏会です。今年も、地元の美味しくて新鮮な野菜の直売もありました。参加者の子ども達は、それぞれのやり方で、アート作品を作り、中には協力しながら1つの絵を完成させている親子さんもありました。今回の参加者はボランティアやスタッフも含めて、57名でした。





公開中の“あぞら共和国”のHPは只今更新中です。まだ来国されていない方へ向けて、楓音ちゃんや永峰さんご夫婦に動画へご出演頂き、管理人の青柳さんと和やかなやりとりを通して、宿泊の流れや施設を紹介しています。



<http://aozorakk.com>



● みんなのふるさと“夢”プロジェクト ご寄附

太田 明	6,000円	本村 隆 千賀子	5,000円	林 一樹	4,000円
小口 節	100,000円	田島 幸子	20,000円	人見 幸夫	10,000円
金丸 康孝	10,000円	志保 誠	10,000円	“あぞら共和国”募金組	114,180円
公益財団法人そらぶちキャンプ	10,000円	藤倉 隆	10,000円		
	10,000円	橋本 貴夫	20,000円		

①個人が寄附をした場合

当会に寄附をすると、国税と地方税をあわせて、寄附金額の最大50%が税額から控除されます。

②法人が寄附をした場合

法人が当会に寄附をした場合は、一般寄附金の損金算入限度額とは別に、別枠の損金算入限度額が設けられており、法人は、その範囲内で損金算入が認められます。

③相続人等が相続財産権等を寄附した場合

相続又は遺贈により財産を取得した者が、その取得した財産を相続税の申告期限までに当会に対し、寄附をした場合には、その寄附をした財産の価値は相続又は遺贈に係る相続税の課税価格の計算の基礎に算入されません。

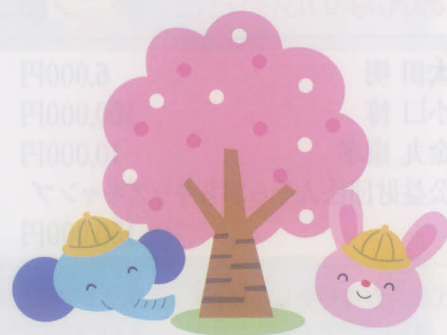
神経発達症を持つこどもの家族向けCST (Caregiver Skills Training: 養育者子育て技能訓練) テキストブック(翻訳第3版、2024年1月発行)の紹介

おぐちこどもクリニック院長 小口 弘毅

WHOは世界中の障害を持つこども達が幼少期に十分な発達支援を受けられない状況を憂慮し、Autism Speaks（米国自閉症協会）に依頼して神経発達症（neurodevelopmental disorders: 具体的には自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、精神遅滞などを指す）を育てる親向けに、家庭で発達支援が出来るように講習会を企画して、その際に使用するテキストを2022年4月に作成し、WHOのHP上に掲載しました。私は2023年8月に偶然、WHO HP上でこのテキストに遭遇しました。神経発達症児のみならず、多様な発達上の問題を抱えている全てのこども達の子育てにも極めて有用であると、小児科開業医（元新生児科医）である私の脳裏に閃きました。つまり発達の問題を持つこどもなら誰にでも役立つと考えました。世界各地でプログラムは試験的に実施され、その効果は実証され、しかも各地に住む人々に受け入れられています。日本は先進国ですが、療育体制が充実しているとは言えません。このテキストは日本の家庭でも極めて有用と思います。家族がこのテキストで学び、家庭で発達支援を行なう事により、円滑に専門的な療育へと繋がると 생각합니다。WHOは英語版のみ製作し、これを世界各地の言語に翻訳して欲しいと詠っていましたので、翻訳権の問題はないので、翻訳し自費出版致しました。原本は全体で260ページを超える大冊ですが、内容をかなり短縮翻訳し、コンパクトな本に仕立てました。家庭での多様な活動、日課を親とこども達が一緒に取り組み、少しずつ言語を中心にコミュニケーションを学んでいくというやり方は非常に

有効と考えられます。家庭での日々の営みを大切にしたい子育てガイドなのです。このテキストは素晴らしい内容であり、しかも生活場面を切り取った理解し易い素敵なイラストは、説明文を越える情報を提供しています。

私は大学病院NICUの新生児科医を辞して2000年から小児科開業医となりました。開業以来、私は臨床心理士と共に、こども達の発達相談を受け、必要な場合は心理士に療育をお願いしてきました。その理由は新生児科医として、退院していたこども達と家族に十分な子育て支援あるいは発達支援が出来なかったからです。多くの母親は今も我が子の発達の遅れや偏りに心を痛め、相談場所そして有効な療育を探し求めていますし、常に“この子をどう育てていったら良いか知りたい?”と聞いてきます。診断名あるいは障害の有無を伝えるだけでは全く不十分です。やはり家庭でこどもをどう育てたら良いか具体的な助言が必要と思います。親は療育者にはなれないかも知れませんが、テキストに学ぶことで、子育ては楽しく希望に満ちたものになるでしょう。この日本語版はおぐちこどもクリニックHPにも電子ブック化して掲載してありますので、多くの親御さんに紹介して下さい。



■おぐちこどもクリニック「クリニック文庫」
神経発達症を持つこどもの家族向けCSTテキストブック
<http://oguchi-ped.cside.com/library.html>

神経発達症を持つこどもの家族向けCST(Caregiver Skills Training :
養育者子育て技能訓練) テキストブック



日本語版 編集・翻訳 小口弘毅



みんなのふるさと

夢プロジェクト

あおぞら共和国

2024 RDD “あおぞら共和国” 第4回 たくさんイベントを開催しました!

3月8日(金)～3月10日(日) 開催

沖縄・九州・愛知・神奈川と遠くから難病のご家族が参加されました。
地元の方々の参加もあり、良い天気の中、たくさんのプログラムを楽しんで
いただきました!



★ たくさんイベントのプログラム紹介～

参加者は本格的なお点前で美味しいお菓子とお抹茶を楽しんでいました。

寒い中、温かくて美味しい、ほうとうがとても心にしみわたりました。





沖縄のご家族にとって、初めての雪！
雪だるまを作って、雪遊びをしました。



お天気や風が心配でしたが、星空観察も気球体験も無事に終
えることができました。



プレリーダー4名による、人形劇では「二分脊椎」に
ついて人形の子どものやり取りで学ぶことができました。



「おきのむくま」さんは、「がんばれ共和国」の
きょうだい児だった森下さんと同級生の清水さん
によるデュオで、あおぞらでデビューしました。



こちらは キットパスで描いた気球！
アートって楽しい！





プロジェクト あおぞら共和国



3日間、お疲れ様でした！ 閉会式の集合写真。みんなで Smile!!! See You!



★ 療育相談室があります！

病気や発達のこと、ご心配なことやわからないこと、話を聴いて欲しいなど、当方の専門家の相談員がお答えします。

お問い合わせ先: aozora@nanbyonet.or.jp <http://www.aozorakk.com>



● みんなのふるさと“夢”プロジェクト ご寄附ありがとうございました。（敬称略・順不同）

① 個人が寄附をした場合

当会に寄附をすると、国税と地方税をあわせて、寄附金額の最大50%が税額から控除されます。

② 法人が寄附をした場合

法人が当会に寄附をした場合は、一般寄附金の損金算入限度額とは別に、別枠の損金算入限度額が設けられており、法人は、その範囲内で損金算入が認められます。

③ 相続人等が相続財産権等を寄附した場合

相続又は遺贈により財産を取得した者が、その取得した財産を相続税の申告期限までに当会に対し、寄附をした場合には、その寄附をした財産の価値は相続又は遺贈に係る相続税の課税価格の計算の基礎に算入されません。